

北海道農業の現状（主産県との比較）

○ 農業産出額（R3）  
（上位5位）

- ①北海道 13,108億円
- ②鹿児島県 4,997億円
- ③茨城県 4,263億円
- ④宮崎県 3,478億円
- ⑤熊本県 3,477億円

○ 産出額上位品目（R2）

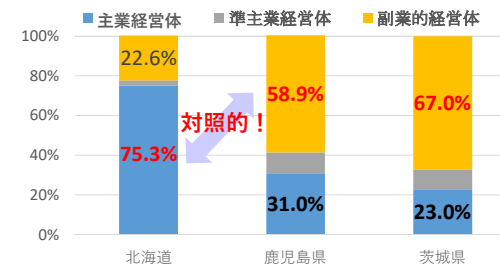
- 米（2位）
- 小麦（1位）
- 大豆（1位）
- ばれいしょ（1位）
- 生乳（1位）
- 肉用牛（2位）

○ 1経営体当たり経営耕地面積（ha）

	経営面積	対主産県
北海道	33.1ha	-
鹿児島県	2.5ha	13.2倍
茨城県	2.6ha	12.7倍

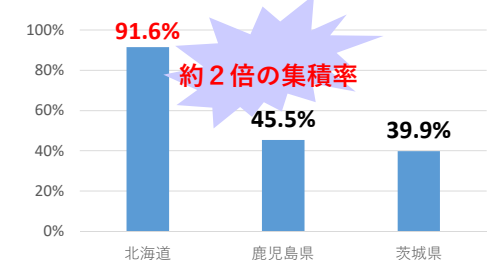
※農林水産省「令和4年農業構造動態調査」  
主産県の約13倍の経営規模

○ 個人経営体に占める主副業別経営体の割合



※農林水産省「令和4年農業構造動態調査」

○ 担い手への農地集積率（R5.3月末）



※農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和4年度版）」

※農林水産省「令和3年生産農業所得統計」 ※農林水産省「令和2年生産農業所得統計」

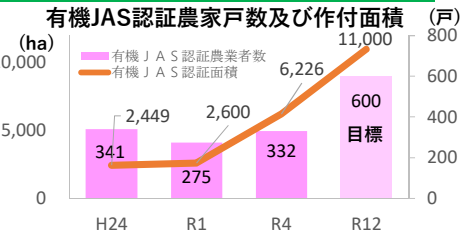
北海道の取組

食料安全保障の強化



→ 輸入からの置換えを推進！

環境に配慮した持続可能な農業



※農林水産省「県別有機JASほ場の面積」

○ 小麦（R4）

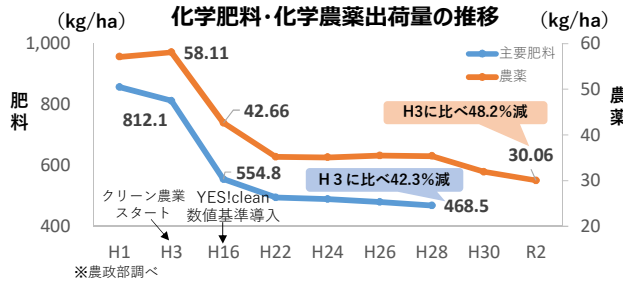
130,600ha  
作付面積全国1位（57.5%）

○ 大豆（R4）

43,200ha  
作付面積全国1位（28.5%）

○ 子実用とうもろこし（R3）

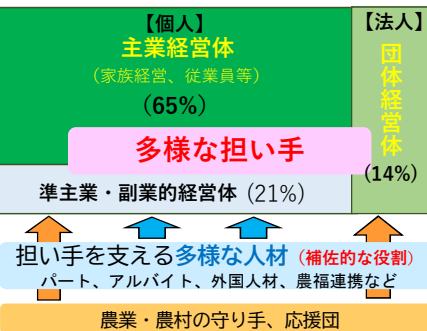
843ha  
第3の輪作作物として期待！



※農政部調べ

人口減少下における生産性の維持・確保

担い手のイメージ



スマート農業技術導入状況



※農政部調べ

今後の取組方向

食料安全保障の強化

- 農産物の適正な価格形成と理解醸成
- 生産力を支える基盤整備の推進
- 小麦、大豆など輸入依存穀物の生産拡大
- 自給飼料の生産及び利用の拡大
- 作付転換や畑地化の促進
- 農産物の輸出促進に向けた環境整備
- 農業生産資材の安定供給
- 効率的かつ安定的な物流体制の強化 など

環境に配慮した持続可能な農業

- 化学肥料・化学農薬の削減
- 有機農業の取組拡大
- カーボン・クレジットの創出と普及 など

人口減少下における生産性の維持・確保

- 担い手の経営発展に向けた施策の推進
- スマート農業技術の社会実装の加速化
- 新規就農者に対する支援対策の充実・強化 など



暗渠排水による農地の排水対策



自給飼料（子実用コシ）の生産拡大



北海道安心ラベル



光センサーを用いた非破壊診断によるトマトの適正施肥



ロボットトラクター



搾乳ロボット